

2014 年 5 月



PLATINUM

小売販売に焦点を当てたプラチナ・ジュエリー市場調査 「PGI 宝飾小売業動向調査」結果発表

世界的にプラチナ・ジュエリー小売需要が伸びた 2013 年
2014 年も増加の見込み

プラチナ・ギルド・インターナショナル (PGI) 英国ロンドン本部では、2014 年 4 月 24 日、第 1 回「PGI 宝飾小売業動向調査 (PGI Retail Trade Barometer)」の結果を発表しました。

この調査は、小売販売の観点からプラチナ・ジュエリー市場の世界的な需要傾向を分析・予測した、初の独自調査です。PGI では、プラチナの宝飾需要が自動車触媒に次いで 2 番目に大きく、かつ小売販売 (店頭から消費者への販売) に関するグローバル市場のデータがほとんどなかったことから、この調査を実施しました。

日本においては、ジュエリー販売に携わる企業約 100 社の 2013 年販売実績および 2014 年見込みを、第三者機関に委託して調査しました。

「PGI 宝飾小売業動向調査 2014」調査結果の概要

【日本市場】

2013 年小売販売ベースでのプラチナ宝飾需要は前年比 3.5% 増

- ⌞ 2013 年はほぼ全てのタイプの小売店で増加が見られたが、特に百貨店での販売が顕著。
- ⌞ 多くの価格帯で販売数量が伸び、特に単価 20 万円以上のプラチナ・ジュエリーが増加した。
- ⌞ 販売金額の伸びは、ジュエリー全体および名目 GDP 成長率を上回った。
- ⌞ 71% の販売店が、消費税増税にも関わらず 2014 年プラチナ・ジュエリー販売が増加見込みと回答。
- ⌞ 2014 年の国内プラチナ宝飾需要は 1.2% 増の見込み。

2013 年の主な増加要因としては、

金融緩和による株高により経済のムードが高まり、特に富裕層の購買が回復したことや、消費税増税前の駆け込み需要が年末商戦にも及んだこと、そして消費者の本物志向への回帰など、プラチナ・ジュエリーの需要を押し上げる要因が複合的に現れたことなどが考えられます。

【グローバル市場】

2013 年

- ┆ プラチナ・ジュエリー市場の 94%を占める主要 4 カ国(日本、中国、アメリカ、インド)における 2013 年小売需要は、全体で 5.3%の伸び。
- ┆ 新興国:世界最大のプラチナ・ジュエリー市場の中国は 3%増。インドは爆発的成長で 41%増。
- ┆ 成熟国:日本は 3.5%増、アメリカは 11%増。

2014 年

- ┆ プラチナ・ジュエリー市場主要 4 カ国の小売需要は、全体で 5.3%の伸びと予測される。
- ┆ 新興国:中国は 5%増の見込み。インドは引き続き急成長が予想され、35%増の見込み。
- ┆ 成熟国:日本は消費税増税の影響は限定的で 1.2%増、アメリカは 11%増の見込み。

プラチナ・ギルド・インターナショナル CEO ジェームズ・カレッジによるコメント:

主要 4 カ国全てにおいて 2014 年需要予測が増加傾向であることから、世界のプラチナ・ジュエリー市場は大変好調であると言える。ジュエリー販売には、一般に考えられている以上にプラチナ全体の消費に対し重要な役割を担っている。ジュエリーは 2 番目に大きな市場であり、中国 1 カ国でも、宝飾用需要が全世界のプラチナ消費量のほぼ 25%を占めている。

私たちは、プラチナ・ジュエリー小売販売の現状と翌年の予測についての情報提供が重要であると考え、この調査を実施するに至った。

PGI 宝飾小売業動向調査(PGI Retail Trade Barometer):

プラチナ・ジュエリーの主要 4 カ国である日本、中国、アメリカ、インドを対象に、小売販売の分析および予測を目的として PGI ロンドン本部が実施した初の市場調査。

2014 年 1~2 月に各国プラチナ・ジュエリー販売店で実施。今後も毎年実施の予定。